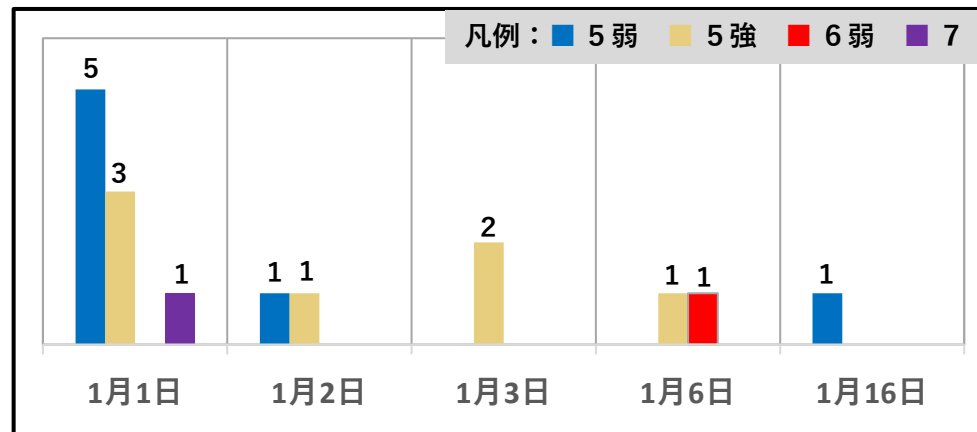


# 令和6年能登半島地震への対応

【令和6年1月25日(木)～31日(水)分】

# 1. 被害状況等

## (1) 地震の状況 (令和6年1月1日以降の地震発生回数 - 震度5弱以上)



## (2) 被害状況等 (石川県発表 1月31日14時時点 ※停電は1月29日14時時点)

	石川県	増減 (先週比)	輪島市	増減 (先週比)
死者	238人	(+ 5)	101人	(+ 3)
負傷者	1,179人	(+ 4)	516人	増減なし
安否不明者	19人	増減なし	15人	増減なし
住家被害 (全壊・半壊等)	46,283棟	(+ 5,722)	2,082棟	(+ 567)
避難所	288箇所	(- 6)	87箇所	(- 7)
避難者	8,579人	(- 1,951)	2,833人	(- 600)
停電	約3,300戸	(- 1,800)	約1,700戸	(- 1,000)
断水	約40,890戸	(- 4,490)	約10,000戸 (ほぼ全域)	増減なし

※輪島市の数値は石川県の内数。避難所数、避難者数は1.5次避難所及び2次避難所を除く

# 2. 都の対応状況

ニーズ等	現地の状況	主な対応状況	所管局	延べ派遣者数
連絡調整等	現地でのニーズを把握し適切な支援に繋げる必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月6日からLO職員が輪島市の職員等との連絡調整を実施</li> <li>1月7日からスターリンクの維持管理</li> <li>1月11日から輪島市災害対策本部会議出席（オブザーバー参加）</li> </ul>	総務局	31人
避難所運営支援	避難者が多数おり、避難所の運営がひっ迫している。 現地及び総務省から支援の要請有 1月11日 三重県、徳島県は避難所（ふれあい健康センター）から引上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>LO先遣隊が7日から避難所（ふれあい健康センター）の運営支援を開始</li> <li>応援職員第1～3陣（合計80名）が活動（1月10日から30日）</li> <li>応援職員第4陣（30名）を派遣（29日から:15名、30日から:15名）</li> </ul>	総務局	110人
安否確認突合	確認作業の突合に人手が必要 （安否が確認された方を安否不明者名簿から削除する作業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月7日からLO職員が突合作業を実施</li> <li>下記の孤立集落解消プロジェクト終了に伴い、突合作業終了</li> </ul>	総務局	—
孤立化集落関係	孤立化集落解消に向けた取組に人手が必要（輪島市の孤立集落数：4地区14人※1月23日14時時点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月10日からLO先遣隊の職員が孤立化集落の情報収集作業（住民情報や道路啓開情報など）を実施</li> <li>1月21日、孤立集落解消プロジェクト終了</li> </ul>	総務局	—
罹災証明書	多数の罹災証明書を発行する必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地における罹災証明書発行・受付業務について応援職員第1陣（都職員4名）が1月24日から活動開始</li> <li>第2陣（区市町村職員4名）が、第1陣と交代し、1月31日から活動</li> </ul>	総務局	4人
住家被害認定	早期に罹災証明書を発行するために、リモートにより住家被害認定業務を行う必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>全壊に関するリモート判定を都庁舎にて実施（全2,251件完了） （39名体制：都職員4名 区市町職員35名 1月27日から29日の3日間）</li> </ul>	総務局 都市整備局	4人
水道関係	断水がほぼ市内の全域（約10,000戸）で発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月5日から順次職員を派遣</li> <li>1月29日から政策連携団体（東京水道株式会社(TW)）が社員を順次派遣</li> <li>2月1日から局職員を長期派遣（1か月単位） →輪島市・志賀町で水道施設の復旧作業を進め、市・町の一部で通水（1月31日時点で局・TW計33名活動中）</li> <li>1月7日から輪島市等で応急給水活動を実施（給水車2台9名）</li> <li>1月10・11日に輪島市へ応急給水用の組立式仮設水槽を搬送（30台）</li> </ul>	水道局	163人

# 2. 都の対応状況

ニーズ等	現地の状況	主な対応状況	所管局	延べ派遣者数
下水道関係	下水道施設の早期復旧が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月8日から順次職員を派遣 輪島市の下水道施設復旧のための取組を実施</li> <li>1月23日 政策連携団体（東京都下水道サービス株式会社）が社員を派遣 （1月31日時点で22名体制 内訳 局16名、TGS 6名）</li> </ul>	下水道局	74人
港湾関係	被害を受けた漁港の復旧が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産庁からの要請により、1月16日から2月1日まで、漁港施設の被害状況に係わる現地確認のため3名体制で延べ10名を派遣</li> </ul>	港湾局	10人
災害廃棄物処理	災害廃棄物の処理に知見・支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境省の依頼により、災害廃棄物処理支援のため職員派遣 第1陣 1月6日～12日5名（能登町）、第2陣 1月17日～23日3名（志賀町）</li> </ul>	環境局	8人
医療従事者等の派遣	医療従事者等が不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>監察医の派遣：1月9日～1月13日（1名）</li> <li>保健師班の派遣【第1～3班】：1月9日～1月24日（10名）</li> <li>保健師班の派遣【第4～8班】：1月24日～2月18日（保健所設置区市から6名）</li> <li>DHEATの派遣【第1～5班】：1月24日～2月18日（5名）</li> <li>DMATの派遣【第5次隊】：1月12日～1月17日</li> <li>DMATの派遣【第6次隊】：1月17日～2月4日 ※全6ターム（延べ26の東京都災害拠点病院から派遣予定）</li> <li>看護師の派遣（都立病院）【第2・3班】：1月27日～2月2日、2月1日～7日（2名ずつ） ※第4・5班も派遣可能性あり</li> <li>DPATの派遣【第1～2陣】：1月13日～27日（8名）</li> </ul>	保健医療局  福祉局	25人  8人
都内避難者への対応	都内避難者の様々な相談への対応が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月12日から都内避難者に対する総合相談窓口を設置し、住宅、高齢者、医療、就学、雇用などに係る各専用窓口につないでシームレスに対応 ※1月31日時点の実績（相談件数46件）</li> </ul>	総務局	—
都内避難者（要配慮者）への対応	甚大な被害により、要配慮者の受入施設が不足している状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>透析患者の受入れについて、都内で43医療機関、約160名の受入れ体制を確保</li> <li>介護が必要な場合に備え、特別養護老人ホーム約210名分、障害者の入所施設約140名分の受入れ体制を確保</li> </ul>	保健医療局 福祉局	—

# 2. 都の対応状況

ニーズ等	現地の状況	主な対応状況	所管局	延べ派遣者数
被災者への都営住宅の提供	住宅倒壊など、被災者が県外に避難するための住居が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の都営住宅の受入れ（当面100戸程度）</li> <li>1月10日から受付開始、12日から入居開始（先行20戸）</li> <li>※1月30日時点の実績 （問合せ件数248件、実質受付件数56件（受付79件、辞退23件）、入居件数17件）</li> </ul>	住宅政策本部	—
応急仮設住宅建設	現地において応急仮設住宅の建設用地調査をはじめとした建設に関する業務支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県の意向を踏まえた国土交通省からの要請に基づき対応</li> <li>応急仮設住宅の建設予定地、配置計画等の確認・調整、工事の進捗管理など</li> <li>建築・電気・機械職の派遣：令和6年1月22日から2月4日まで（3名）</li> </ul>	住宅政策本部	5人
都税申告・納付等期限延長	都税を納付する被災者への配慮が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川県及び富山県にお住まいの方及び主たる事務所がある法人については、都税の申告・納付等の期限を申請不要で一律に延長を行う。</li> <li>対象地域以外にお住まいの方及び主たる事務所がある法人については、納税者からの個別の申請に基づき、申告・納付等の期限を延長</li> </ul>	主税局	—
義援金の受付	被害を受けた方への金銭的支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月5日義援金の募金箱設置（都庁舎内4箇所）</li> <li>1月10日口座振込による義援金の受付開始</li> <li>※1月30日現在 合計31,359,252円</li> <li>1月12日から都職員の義援金を募集</li> <li>1月22日、各局等に対し、募金箱（任意）の設置について通知</li> </ul>	福祉局 財務局 産業労働局 総務局	—
被災地の学生の学費免除	被害を受けた学生への経済的支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都公立大学法人の令和6年度入学志願者等に対して授業料等の免除等実施</li> </ul>	総務局	—
被災地域からの学生の受入れ等	被災者が県外に避難した際の就学先が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害救助法適用地域に住居を有し、被災したことに伴い、保護者とともに都内に転居する生徒（都内に身元引受人がおり、同居する場合も含む）を都立高校等で受入れ（1月26日から受付開始）</li> <li>東京都立産業技術高等専門学校においても、被災地域からの学生を受入れ（1月26日から受付開始）</li> <li>入学考査料、入学科及び授業料は減免</li> </ul>	総務局 教育庁	—

**延べ派遣者（都職員）数合計 442名**

# 2. 都の対応状況

ニーズ等	現地の状況		対応状況		所管局
物資関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地より液体ミルクの要望有</li> <li>・以下の物資について要請有</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・液体ミルクについて、40箱（960個）が輪島市に到着済</li> <li>・依頼された物資について順次対応中</li> </ul>		関係各局
	必要物資	必要数	発送数	備考	
	食料	1,000	1,000食	1/8到着済	
	紙コップ・紙皿・おわん	1,000	紙コップ1,000個 紙皿1,000枚	1/10到着済	
	割りばし	500	500本		
	ラップ	500	500巻		
	手指消毒液	300	300本	1/13到着済	
	口腔ケア関係	2,000	2,000個	1/13到着済 口腔ティッシュ	
	歯ブラシ・歯磨き（液体）等	2,000	歯ブラシ2,000本 液体歯磨き2,000本	1/13到着済 1/13到着済	
	ドライシャンプー	1,000	1,008本	1/14到着済	
	体ふきシート	500	424個	274個：1/10到着済 150個：1/13到着済	
	使い捨て手袋	1,000	1,000枚	1/10到着済	
	ブルーシート	8,070	3,552枚	1/20到着済	
2,502枚			1/31到着済		
2,016枚			2/1搬出予定		
	電池各種	500	単1から4まで各500個	1/10到着済	
	ごみ袋	500	500枚		
	マスク	10,000	10,000枚	1/8到着済	
	段ボールベッド	128	128基	1/9到着済	

# 3. 警察・消防の活動状況

## ○警視庁

### ◆広域緊急援助隊警備部隊

- ・【第6次】珠洲警察署で給水活動（1/25～1/31）

### ◆広域緊急援助隊交通部隊

- ・【第3次】のと里山街道で交通規制活動（1/25～1/28）

### ◆警視庁特別自動車警ら部隊

- ・【第2次】能登市・珠洲市で警ら活動（1/22～1/29）
- ・【第3次】能登市・珠洲市で警ら活動（1/31～）

### ◆警視庁特別生活安全部隊（警視庁きずな隊）

- ・【第2次】輪島市の避難所において訪問活動（1/20～1/27）



きずな隊（子どもに職員寄贈の絵本を読み聞かせている様子）

## ○東京消防庁

### ◆緊急消防援助隊東京都大隊

- ・珠洲市の土砂災害現場において救出救助活動（1/25～）



土砂災害現場での救出救助活動